

看護学科

講義要綱

科目	薬理学	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	担当者	池田 雅彦
----	-----	----	---	-----	----	-----	------	-----	-------

講義の目標	<p>現在、病気に対して様々な薬が使われている。また新しい薬も次々と開発されている。これらの薬は使い方次第では病気に対し有効に作用するどころか、逆に毒性を示すことがある。薬理学では、これらの薬を使用したとき、薬がからだの中でどのような作用を示すのか、またある効果を期待するときどのような作用をもつ薬を使用すればよいのかについて学び、薬に対する基礎知識を養う。</p>									
講義計画	回数	学習内容							備考	
	1	薬理学総論								
	2									
	3	抗感染症薬・抗がん薬・免疫治療薬								
	4									
	5									
	6	抗アレルギー薬・抗炎症薬								
	7	末梢での神経活動に作用する薬物								
	8									
	9	中枢神経系に作用する薬物								
	10									
	11	心臓・血管系に作用する薬物								
	12									
	13									
		14	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物							
	15	物質代謝に作用する薬物								
評価方法	3回に分けて試験を行う。									
受講生への要望	薬理学を学ぶには生化学、生理学などの知識が必要になるので、これらも合わせて学ぶ。身近な薬に興味を持ち、たとえば病院で薬を処方されたらすぐ一般名、薬効、作用機序などを調べる姿勢が欲しい。									
テキスト	① 書名 系統看護学講座 専門基礎分野			② 著者名 薬理学			③ 発行所 医学書院			
参考文献	① 書名 NEW 薬理学 カッツリング薬理学 臨床で役立つ薬の知識 治療薬マニュアル 2022			② 著者名 田中千賀子・加藤隆一 Bertran G. Katzung 折井孝夫 北原光夫他			③ 発行所 南江堂 丸善 学研メディカル秀潤社 医学書院			

看護学科

講 義 要 綱

科目	臨床薬理学	単位	1	時間数	30	開講期	2年後期	担当者	薬剤師：徳濱潤一（16）更谷和真（4） 原田晴司（2）河合深春（2） 望月愛子（2）松浦功貴（2） 杉山弘樹（2）
----	-------	----	---	-----	----	-----	------	-----	--

講義の目標	疾患に関する知識を使って、薬の役割を学びます。生活習慣病やがん・感染症などの疾患に焦点を当て、薬物療法を受ける患者の安全と病気の治癒あるいは症状の改善に医薬品はどのような効果を発揮しているのかを学びます。処方箋や医薬品の情報源である添付文書の読み方も理解しましょう。 可能な限り臨床で使用する医薬品の実物を見て、剤型や取り扱い方法を知り、個々の薬を患者にどう提供すればよいのかも学びます。									
講義計画	回数	学習内容							担当者	
	1	医薬品全般について・処方薬							徳濱	
	2	医薬品の作用原理とその影響（添付文書の読み方・含有量換算・副作用・相互作用）、処方・調剤について							}	
	3	医薬品のリスクマネジメント							原田	
	4	治験・CRC業務							望月	
	5	主な疾病に使用する薬剤 腎障害、透析療法、鎮痛薬							更谷	
	6	抗がん薬の臨床薬理							杉山	
	7	主な疾病に使用する薬剤 呼吸器							}	
	8	消化器							徳濱	
	9	循環器							}	
	10	感染症に対する治療薬・消毒							更谷	
	11	主な疾病に使用する薬剤 糖尿病治療薬							河合	
	12	輸液について							松浦	
	13	主な疾病に使用する薬剤 泌尿器・整形外科・神経内科							}	
	14	オピオイド関連・外用薬（点眼薬・軟膏）							徳濱	
15	終了試験							}		
評価方法	定期の筆記試験で評価する									
受講生の要望	私達の生活の中で医薬品は身近なものです。しかし、看護学生にとって「臨床薬理学」という講義名で示されるとその存在は未知のもので、難しい学問領域だと思ってしまうかもしれません。薬の名前も商品名では無く、薬剤本来の名称（一般名）で学ぶ困難さは確かにあります。授業内容は非常に盛りだくさんです。でも、看護師になって臨床で出会う頻度の高い病気に焦点を当てて、看護師に求められる薬の知識を丁寧に学習してほしいです。この知識は必ず役立ちますし、病気と闘う人々を応援する力になります。 遅刻せず、休まず出席してください。看護教師と協力して演習も取り入れます。 授業に積極的に参加してください									
	確認問題は自分でやってみる 疑問はそのままにしない 授業に関係のないことをやらない									
テキスト	①書名 系統看護学講座 別巻 系統看護学講座 専門基礎分野			②著者名 臨床薬理学 薬理学			③発行所 医学書院 医学書院			

看護学科

講 義 要 綱

科目	臨床医学特論	単位	1	時間数	30	開講期	2 年前期	担当者	医師：森脇五六(4), 東幸宏(2), 尾崎正時(4) 看護師：中村卓樹(8) 手術看護認定看護師：杉浦弘明(2) 皮膚・排泄ケア認定看護師：府川博俊(2) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師：小澤尚子(2) がん放射線療法看護認定看護師：杉山美和(2) 理学療法士：澤野公一(2) 作業療法士：勝又和也(1) 言語聴覚士：佐々木浩三(1)
----	--------	----	---	-----	----	-----	----------	-----	--

講義の目標	人間の健康障害に対する治療法の基礎を学び、治療方法に合わせた看護についての知識・技術を理解する。 特に、外科的治療、手術侵襲、麻酔、放射線、リハビリテーションについて学ぶ。			
	回数	学習内容	担当	講義の概要 (使用教科書)
	1	体液について	森脇	外科的治療・手術療法を受ける周手術期患者に対する侵襲に対する生体反応、体液管理、麻酔法について理解する。 (1)
	2	麻酔について	森脇	
	3	手術療法と看護①	中村	手術療法と周手術期看護、手術侵襲による生体反応について理解する。 (1、2)
	4	手術療法と看護②	中村	手術前患者の看護について 心理面・全身状態を整える必要性、麻酔が及ぼす影響、手術当日の看護について理解する。 (1、2)
	5	手術療法と看護③	杉浦	手術中の看護について (1)
	6	手術療法と看護④	中村	手術後患者の看護について 術後の観察の方法について理解する。 (1、2)
	7	手術療法と看護⑤ (創傷管理・ストマケア)	府川	疾病治療や創傷部の保護などを目的にした創傷管理について学ぶ。傷治癒過、創傷管理の実際、ストマケア (ストマケアについては学内演習) 12：ストーマ管理 (3、4)
	8	手術療法と看護⑥	中村	手術患者のアセスメントの視点 (事例を用いる) 創傷管理の実際 (演習) 36：創傷処置 (創洗浄、創保護) 37：ドレーン類の挿入部の処置 (1、2)
講義計画	9	リハビリテーション医療と看護①(理学療法)	澤野	リハビリテーションの概念、各専門職、チームアプローチ、社会資源について理解する。
	10	リハビリテーション医	勝又	理学療法、作業療法、言語療法 (コミュニケーション)

	療と看護②(作業療法、言語療法)	佐々木	ン障害概論、失語症、構音障害) (7)																								
1 1	リハビリテーション医療と看護③	小澤	リハビリテーションと看護 ① リハビリテーションとは ②ICDと ICIDH ③PT, OT, ST ④障害受容 ⑤介護保険など (7)																								
1 2	内視鏡治療	東	内視鏡治療の目的、消化管出血に対する止血術、内視鏡的食道・胃静脈瘤治療、消化管狭窄に対する治療、内視鏡的粘膜切除術、経皮内視鏡的胃瘻造設術、内視鏡的胆道ドレナージ・乳頭切除術、内視鏡外科手術(腹腔鏡検査) (4)																								
1 3	放射線療法と看護①	尾崎	放射線医学について、医療従事者として最低限必要な専門的知識と医療被曝およびその防止に対する知識を学ぶ。(放射線防護、放射線診断、放射線治療) (5)																								
1 4	放射線療法と看護②	尾崎																									
1 5	放射線療法と看護③	杉山	放射線による身体への影響、放射線療法に伴う有害事象とそれに伴う症状に対する看護、放射線防護(放射線防護の3原則)と看護管理、について学ぶ。(5)																								
	終了試験																										
評価方法	筆記試験 課題・レポートの提出状況 演習参加態度																										
受講生への要望	治療法についての総論を学びます。患者に行われている治療の理解が前提のもと、看護の実践を行います。この講義の学習は、実習においてまた臨床においても必要な内容です。主要な治療を短時間で学習しますので内容が広く、また臨地実習が始まらないと理解が難しいかもしれません。復習を重ね、最新の治療などにも関心を持てるようにしてほしいです。																										
テキスト	<table border="0"> <thead> <tr> <th>①書名</th> <th>②著者名</th> <th>③発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>(2) 写真でわかる看護技術②呼吸循環創傷ケアに関する看護技術を中心に</td> <td></td> <td>インターメディカ</td> </tr> <tr> <td>(3) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>(4) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>(5) 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>(6) 新体系看護学全書 基礎看護学 臨床看護総論</td> <td>メジカルフレンド社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> </tbody> </table> <p>講師別使用テキスト (1)(2)中村、(3)(4)府川、(5)尾崎・杉山、(1)杉浦・森脇、(4)東 (6)杉山、(7)佐々木・勝又・小澤</p>			①書名	②著者名	③発行所	(1) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論		医学書院	(2) 写真でわかる看護技術②呼吸循環創傷ケアに関する看護技術を中心に		インターメディカ	(3) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ		医学書院	(4) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器		医学書院	(5) 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学		医学書院	(6) 新体系看護学全書 基礎看護学 臨床看護総論	メジカルフレンド社		(7) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護		医学書院
①書名	②著者名	③発行所																									
(1) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論		医学書院																									
(2) 写真でわかる看護技術②呼吸循環創傷ケアに関する看護技術を中心に		インターメディカ																									
(3) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ		医学書院																									
(4) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器		医学書院																									
(5) 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学		医学書院																									
(6) 新体系看護学全書 基礎看護学 臨床看護総論	メジカルフレンド社																										
(7) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護		医学書院																									
参考文献	<table border="0"> <thead> <tr> <th>① 書名</th> <th>②著者名</th> <th>③発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">適宜紹介します。</td> </tr> </tbody> </table>			① 書名	②著者名	③発行所	適宜紹介します。																				
① 書名	②著者名	③発行所																									
適宜紹介します。																											

看護学科

講 義 要 綱

科目	社会福祉論	単位	2	時間数	30	開講期	2年 後期	担当者	鈴木 茂 (26) 社会福祉士：一関 翔 (4)
----	-------	----	---	-----	----	-----	----------	-----	-----------------------------

講義の目標	<p>【社会保障実際論】(20)</p> <p>少子・急速な高齢社会、障害者の自立と社会参加に伴い、社会保障・社会福祉の内容は、かつてのような限られた者の保護にとどまらず、子育て・子育て支援、健康な高齢者の介護予防、生き甲斐対策、疾病の予防、健康づくりへと拡大、深化している。人間の健康に関わり、生活を支援するため必要な、社会保障や社会福祉の制度に関する知識を学ぶ。</p> <p>【医療社会事業】(10)</p> <p>社会保障の理念と基本的な考え方について学ぶ。生活者の生活問題に対する法律に基づく社会福祉の方法と課題について学ぶ。</p> <p>医療ソーシャルワーク概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者、家族、医師、看護師の中で、MSWの存在意義を理解する。 2. 医療制度改革における、MSWの役割変化を理解する。 3. 新たなテーマ（インフォームドコンセント、セカンドオピニオン等）におけるMSWの関わりについて理解する。 								
	講義計画	回数	学習内容						担当者
	1	社会保障制度と社会福祉						鈴木 茂	
	2	社会保障制度 社会保障の法制度							
	3	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向							
	4	医療保障 医療保障制度の沿革、構造と体系 健康保険と国民健康保険 高齢者医療制度、保険診療のしくみ 公費負担医療 国民医療費							
	5	介護保障 介護保険制度の背景と介護保険の歴史 介護保険制度の概要、課題と展望							
	6	所得保障 所得保障制度のしくみ 年金保険制度 社会手当 労働保険制度							
	7	公的扶助 貧困・低所得問題と公的扶助制度 生活保護制度のしくみ 低所得者対策 近年の動向							
	8	社会福祉の分野とサービス							
	9	高齢者福祉 障害者福祉 児童家庭福祉							
	10	社会福祉実践と医療・看護 社会福祉援助 援助技術（個別、集団）検討課題 連携の重要性							
	11	社会福祉の歴史							
	12	まとめ							
	13	テキストを主に、医療現場でのMSWエピソードを紹介 病診連携事業の紹介						一関 翔	
	14	福祉制度との関連事項							
	15	終了試験						鈴木 茂	
* 講義順序・内容は変更する可能性がある。									

評価方法	講義が中心なので、出席状況を重視する。 ミニテスト、定期の試験、出席状況等による総合評価を行う。		
受講生への要望	社会福祉を中心とした、新聞記事のスクラップなどを行い、社会福祉の流れを把握してほしい。		
テキスト	② 書名 【社会保障実際論】 系統看護学講座 専門基礎分野 【医療社会事業】 系統看護学講座 専門基礎分野 系統看護学講座 専門基礎分野 国民衛生の動向 2022/2023	②著者名 社会保障・社会福祉 社会保障・社会福祉 看護関係法令	③発行所 医学書院 医学書院 医学書院 (財)厚生統計協会
参考文献	①書名	②著者名	③発行所

看護学科

講 義 要 綱

科目	医療関係法律論	単 位	1	時 間 数	15	開 講 期	2年 後期	担 当 者	国京 則幸
----	---------	--------	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	-------

講 義 の 目 標	<p>講義の目標 看護という職業に携わる者として必要な法の基礎を学ぶ。 また、医療を提供する枠組みの全体像およびそれぞれのしくみの関連性について理解する。</p> <p>講義の概要 看護という職業との関係を理解するために、まずは、法の枠組み・体系について理解し、法的な考え方の基礎を学ぶ。さらに、医療を提供する枠組みに関しては、医療提供のための制度と医療を保障するための制度全般について学び、あわせて、それら諸制度の関連性・看護の位置付けについても学ぶ。また、外国の制度として、イギリスの医療制度・医療保障制度についても紹介したい。</p>								
講 義 計 画	回数	学習内容							備考
	1	看護と法・法律論概論、看護師の法的位置づけ（資格）							
	2	看護師の法的位置づけ（業務・総論）、看護師の業務と責任（責任体系）							
	3	看護師の業務と責任（民事責任）							
	4	看護師の業務と責任（刑事責任）							
	5	医療の提供と看護（医療制度）							
	6	医療の提供と看護（医療保障制度）							
	7	関連法規							
	8	試験							
評 価 方 法	試験によって評価する。								
受 講 生 の 要 望	<p>一方通行の講義ではつまらないので、できるだけやりとりをしながら理解を深めたいと考えています。したがって、講義に際しては、テキストの該当箇所はあらかじめ通読しておいてください。</p> <p>なお、講義自体は配布するレジюмеにのっとして進めます。</p>								
テ キ ス ト	③ 書名 系統看護学講座 専門基礎			②著者名 看護関係法令			③発行所 医学書院		
参 考 文 献	① 書名			②著者名			③発行所		